



大黒屋光太夫



船で漂流
ロシアまで



大黒屋光太夫
廻船問屋の船頭であった光太夫は、1782年に江戸へ向けての航海の途中、暴風雨にあい、ロシアに漂着しました。そこで、日本と異なる文化に触れ、見聞を深めました。1792年、根室に來航したラクスマンに伴われて帰国し、ロシアや西洋の多くの情報を日本にもたらしました。

【教材「三重の文化」P26】